



いたびつ  
板櫃

<校訓>  
真理の探究  
自主躍進

令和5年11月17日(金)発行  
校長 栗原博巳  
北九州市小倉北区白萩町8番1号  
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>

自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～

<目指す生徒像>

- ① 「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
- ② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
- ③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
- ④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)



## 2年生修学旅行に行ってきました!



今年から北九州市で始まった2年生での修学旅行。板櫃中2年生は11月5日(日)からの3日間の修学旅行に行ってきました。中学校生活最大の行事である修学旅行が2年生に実施されたということは、この3日間の頑張りを将来に生かしてほしいということです。3日間で勉強したことも、楽しんだことも、怒られたことも、それだけで終わってはいけないと思います。大切なことは、それを今からの自分自身の将来のエネルギーに変えることです。これからの2年生に期待しています。

### 11月5日(日)京都(北野天満宮・金閣寺・東映太秦映画村・ホテル杉長)

板櫃中2年生は7時45分、小倉駅に集合。まだ眠そうな人もいましたね。小倉駅1Fフロアで実行委員会による出発式。校長先生の話、実行委員長の話、添乗員さん・写真屋さんの紹介のあと、いよいよホームへ。

8時52分発の「のぞみ14号」は小倉駅に滑り込み、いよいよ京都へと出発。新幹線に乗った直後も、みんな自分の席に座り、指示をきちんと待つ姿がとても印象的でした。新型コロナウイルス感染症拡大防止、インフルエンザ感染防止のため、新幹線内での座席の回転は禁止されています。でも、新幹線の中は本当に楽しそう。羽目を外しすぎることなく、おやつを食べたり、トランプやUNOをしたりと楽しんでいました。約2時間半の新幹線の旅も終わり、11時19分京都駅到着。

さあ、最初の見学地、北野天満宮です。本殿前の中門は三光門と呼ばれ、神秘的な「星欠けの三光門」伝説が残っています。それは、門の名は日・月・星の彫刻に由来しているけれども星は天上に輝く北極星のことで、実際には刻まれていないという説。平安時代、御所の場所は現在とは異なり当宮を北西に臨む千本丸太町に位置し、帝が当宮に向かってお祈りをされる際、三光門の真上に北極星が輝いていたからだと言われています。お参りはできましたか。

13時50分金閣寺駐車場到着。たくさんの修学旅行生、外国人観光客の方々がありましたね。そのくらい金閣寺は凄いのです。黄金の輝きを放つ北山文化を代表する鹿苑寺金閣はみなさんの目にはどのように映ったでしょうか。池に映る金閣寺もきれいでしたね。

この日の最後の訪問地は東映太秦映画村です。映画村は、1975年に東映京都撮影所の一部を分離して一般公開した映画のテーマパークです。日本のテーマパークの先駆けと言われるこの東映太秦映画村では、チケットを買って入場した瞬間から目の前に時代劇の世界が広がります。時代劇の撮影に実際に使用されるセットが見られるだけでなく、忍者屋敷やお化け屋敷、立体迷路など、さまざまなアトラクションを家族みんなで楽しむことができ、忍者ショーやチャンバラの実演も見ることができます。さらに、仮面ライダーやスーパー戦隊、人気アニメのキャラクターに関するイベントも目白押しです。東映太秦映画村は、史跡の多い京都でちょっと違った1日が過ごせるテーマ

パークです。ここでは、まず写真撮影。解散後にお土産を買いに行く人、アトラクションを探す人などみんな楽しそうに過ごしていました。

東映太秦映画村を後にして、バスは今日の宿舎である「ホテル杉長」へ到着。1日目を終えて、自分たちの仕事は責任をもって実行することができましたか。夕食は「すき焼き」で何杯もお代わりする姿には驚きました。食べ過ぎないようにね。食事、部屋での語らいなど友達と楽しい時間を過ごすことができました。10時30分には消灯。明日は雨予報・・・晴れますように・・・。

### 11月6日(月)京都・奈良(清水寺・奈良公園・東大寺・薬師寺・さきしまコスモタワーホテル)

9時00分には清水寺に到着。仁王門で学年写真。そのまま、境内へ。「清水の舞台から飛び降りる」で有名な舞台はどうでしたか。また、音羽の滝の水を飲んだ人もいたのではないのでしょうか。音羽の滝最大の特徴は、3本に分かれた筧(かけい)です。3つそれぞれに違った意味があり、ご利益も異なります。正面から見て右端は「延命長寿」のご利益、真ん中は「恋愛成就」、左端は「学業成就」とされています。みなさんはもちろん左端ですよ。参拝の後は清水坂でのお土産タイムです。ここで、ほとんどの人が清水寺と東映太秦映画村で京都のお土産を買ったのではないのでしょうか。「校長先生、お小遣いが残っていません」という声も聞こえてきました。校長先生はちょっと心配でした。

10時30分清水寺を出発。バスは高速道路を經由して、一路奈良へ。初めに「レストラン春日野」で昼食。昼食後は、若草山の麓で、鹿せんべいタイム。鹿に追いかけられ、スカートにかみつかれた悲鳴が奈良公園中に響いていました。

このころから天気は下り坂になりました。二月堂、三月堂を経て、大仏殿へ。奈良公園と言えば、鹿と大仏殿ですが、もう一つの名物は「砂ぼこり」です。校長先生は『少しくらい地面がぬれた方がいいな』と思っていました。実は、奈良公園は天気がよすぎると「砂ぼこり」がすごいのです。しかし、この日は砂ぼこりどころか、雨が激しくなりました。ほとんどの人が傘を持っていましたが、ズボンやスカートが濡れた人もいたようです。相変わらずものすごい数の修学旅行生がいたのには驚きました。奈良公園ガイドさんの話はしっかり聞けましたか。見た目以上に大仏は大きかったですよ。写真のフラッシュが届かない人も多かったのでは。いつ来ても、昔の人々の知恵と想像力、技術の高さに驚かされます。

さあ、次は、薬師寺です。薬師寺は、「法相宗(ほっそうしゅう)」の大本山です。白鳳時代680年、天武天皇によって皇后(後の持統天皇)の病氣平癒を祈願し発願され、697年持統天皇の時代に完成しました。当時は、その大伽藍はわが国随一の壮麗さを誇り、金堂や塔のたたずまいは「龍宮造り」と呼ばれるほどの美しさでした。ここでは、薬師寺のお坊さんの説法を聞きました。途中、ものすごい雨!豪雨でした。でも、説法が終われば雨もやみ、金堂や五重塔を見学することができました。面白い話にはみんなよく反応し、真面目な話にはきちんと耳を傾けている姿が印象的でした。ところで、奈良のお寺はお葬式をあげないのを知っていましたか。奈良のお寺はお坊さんは勉強するところ。今で言えば大学に当たります。だから、本当は東大問答寺、法隆学問寺、薬師学問寺などと言うそうですよ。法隆寺、薬師寺を堪能して、バスは今日の宿泊先である大阪の「さきしまコスモタワーホテル」へと向かいました。夕食はビュッフェスタイル。一日中ほとんど歩いていたので、みんなしっかり食べていました。明日はいよいよ最終日。ホテルでの時間を楽しんでください。

## 11月7日(火)神戸(神戸海洋博物館・カワサキワールド・南京町)

9時50分、神戸海洋博物館・カワサキワールド到着。昨日の天気が嘘のように晴れ渡っていました。大海原を駆ける帆船の帆と波をイメージした白いスペースフレームの大屋根が特徴的な「神戸海洋博物館」は「海から港から神戸は始まり、未来に出航する。」をコンセプトに、1868年の近代神戸港の開港から120年目に当たる、1987年に「神戸開港120年記念事業」としてオープンしました。船の仕組みやクルーズ客船の魅力、港の施設や海・船・港の歴史と未来を体験する博物館としての役割を担っています。

古より時代とともに移り変わる港と街の様子を、航海計器や船具の「実物」や「ジオラマ模型」「映像」「グラフィック」などで、海・船・港の「過去」「現在」「未来」をわかりやすく紹介しています。

また、「阪神淡路大震災」で崩れたメリケン波止場の一部を「神戸港震災メモリアルパーク」として保存。震災で得た教訓を後世に伝えています。2006年より、神戸港の開港以来、その歴史とともに歩んできた川崎重工業が企業博物館「カワサキワールド」を隣接展開しています。カワサキワールドでは、バイクや車に乗って写真を撮っていた人が多かったようです。見学後は、クラスで写真撮影。海に見える芝生広場でサンドイッチを食べました。

さあ、最後の訪問地の南京町です。食べ歩きをしている班、新幹線の中で食べるものを買っている班など楽しい時間を過ごすことができたと思います。北九州の学校も数校訪問していました。人気のある店は大行列でした。少し、異国情緒を楽しめたのではないのでしょうか。

点呼を終えて、バスは新神戸駅へと向かいました。京都駅や新大阪駅は修学旅行生でごった返していますが、この日も新神戸駅は空いていました。みなさんの素早い行動に感謝です。

14時54分のぞみ31号は小倉へと向かいました。思っていたとおり、帰りの新幹線も元気な2年生でした。おやつ、トランプ、UNO、おしゃべり・・・本当に、本当に楽しんでいました。パワーあふれる2年生は最高です!16時53分小倉駅到着。解散式で校長先生の話、実行委員長の話、添乗員・写真屋さんへのお礼を終えて、修学旅行は幕を閉じました。

3日間天気が崩れた日もありましたが、行程もスムーズ、移動も神戸を除いて渋滞なし、点呼・集合もまずまず、2年生が頑張ったのはもちろんですが、毎日の学校生活が表れていると感じました。

(3年生の修学旅行記でも書きましたが)何でもすべて自由にできるのが修学旅行ではありません。集団で行動するからこそ日常の生活以上にルールが必要になってきます。不自由さの中で、いかに楽しむか、我慢できるか、修学旅行が終わって、大切なことがいくつか分かったと思います。

楽しかった思い出は大切にしながら、日常の生活のリズムを早く取り戻しましょう。いつも言われていることですが、学校生活が一番大切です。頑張り、板櫃中2年生!